

サステナブルツーリズム 国際認証制度の日本導入・普及について

フロントランナー助成
5年目
知識の提供・普及啓発

東京フォーラム参加者	146人
東京セミナー参加者	73人
今年度計画の達成度	90%
目標達成度	90%



東京フォーラム2日目全大会の様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

東京フォーラムでは参加者の集客が思わしくなく、また会場費の高さから参加費を設定せざるを得なかった。これまでの開催地域からの出展もはかどらなかった。

■ 工夫した点

SDGsの観光分野での取組みであると打ち出した。仕組みや内容を分かりやすく解説する資料も作成した。ほかのサステナブルな認証を引き合いにし、解説した。

課 題

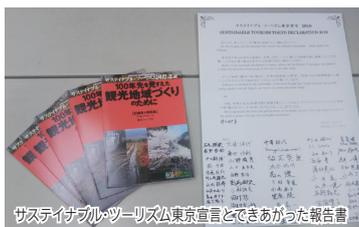
- サステナブル・ツーリズムについての認知の拡大
- 既存観光産業の巻き込み
- 地域における持続性の実現

目 標

GSTCの国際基準を活かして、各地の観光地域づくりに取り組む地域の拡大と人づくりが進む。サステナブルツーリズムの考え方がより広範に社会で認知され関心が高まる。

活動内容と成果

5年目の最終年となる今年度は、これまで熊野、尾瀬片品、秋田仙北、島原半島で開催してきたフォーラムを、東京・青山の国連大学で開催し、全国からの事例と国を挙げて取り組む先進事例のシロベニアからゲストを招き開催した。それに先駆けて、3回のセミナー、フォーラム後にGSTCトレーニングを東京、北海道で開催。5冊目となる報告書を作成した。また、フォローしてきた釜石市がグリーンディステーションズ「世界の持続可能な観光地TOP100」に選定され、大きな話題を作れた。



サステナブル・ツーリズム東京宣言とできなかった報告書



トレーニングプログラム エクスカーション

全助成期間の活動を振り返って

当初「サステナブル・ツーリズム」の言葉への理解が得られず、地域での展開を見込んだものなかなか進まなかった。2017年の国連サステナブル・ツーリズム年と近年のSDGsの浸透により、だいたい受け入れられやすくなった。釜石の「世界の持続可能な観光地TOP100」の選定は大きなインパクトがあり、今後地域で取り組むモデルとなりえる。ようやく社会的な認識が得られ、関心を持つ地域や事業者が確実に増えている。

| 活動地域 | 東京、北海道

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-38-5

電話：03-5834-7966

E-mail: desk@ecotourism-center.jp

http://ecocen.jp/



今後の展望

東京フォーラムの報告書を今後の紹介ツールとして活用。さらに解説用に作成した資料を使い、地域での取組み事例を増やす努力をはかる。釜石市の事例をモデルに、今後認証取得や持続可能な観光地域づくりを進める地域への支援を進める。あわせて、観光庁や環境省、業界団体へも働きかけを行い、GSTCやグリーン・ディステーションズとの関係を強化して、日本でのサステナブル・ツーリズムの制度の確立を目指す。